

# まちづくりニュース



発行：平成23年3月  
杉並区都市整備部都市計画課 鉄道立体担当



京王線沿線の地域では、杉並区と世田谷区の地域住民の皆様が、鉄道の連続立体交差事業を契機にまちづくり協議会を設立し、地区でのまちづくりの検討を進めています。今回のニュースでは、協議会の活動と京王線の連続立体交差化および複々線化等に関する手続き、都市計画案等の説明会について、お知らせします。

- P.2 ▶ 都市計画案および環境評価準備書の縦覧と意見書の提出
- P.3 ▶ 都市計画案および環境評価準備書の説明会  
▶ 沿線の関係事業の流れ
- P.4 ▶ 地域活動のお知らせ ▶ 沿線探訪



## 沿線のまちづくり協議会



【構想提案の様子】

### 下高井戸駅周辺地区街づくり協議会

平成22年7月、協議会から、地区のまちづくり構想として、下高井戸駅周辺地区の「地区まちづくり計画」の提案がありました。

現在、区は基礎調査などを行い、地区のまちづくりの案の検討を進めています。

協議会としては、まちづくり構想の提案という大きな目的を果たしましたが、協議会の活動は続いています。(ホームページ <http://shimotakaido.net>)



【まち歩きの様子】

### 桜上水駅周辺地区街づくり協議会

平成20年6月に「安全で安心して暮らせる街、賑わいを持った街としていくこと」を目的として発足し、会員は約170名です。運営委員会および三部会（交通部会、環境部会、駅周辺部会）が中心となって、毎月まちづくりの検討を行っています。

まちづくりの検討が効率的に進められるように、運営委員会の事前準備として、企画会議や事務局会議なども開催し、中間まとめづくりを進めています。

協議会の広報紙「私たちのまち・町・街」を発行し、活動内容や検討状況報告を行っています。協議会のホームページも開設し、資料の閲覧や広報紙を配信しています。(ホームページ <http://www.sakurajosuitown.org>)



【検討会の様子】

### 上北沢駅周辺地区まちづくり協議会

平成21年7月、「歴史的に形成された優れた特性を受け継ぎ、次世代にも安心して住み続けられるまちを育てていくことを目指して、快適に暮らせる住環境や親しみと賑わいがある商業環境を実現すること」を目的として発足し、会員は約90名です。

まちづくりの検討は、協議会全体で原則、毎月第二水曜日に開催しています。まちづくりの検討会の前後に運営委員会を開催し、協議会の進め方等を検討しています。検討の状況は、協議会で議論の途中のテーマもあり、今後、議論を重ねて中間まとめづくりを進める予定です。協議会の広報紙「上北沢駅周辺地区まちづくりかわら版」を発行し、検討の状況報告や今後の予定などを掲載し、地区の共通理解を図っています。



【まち歩きの様子】

### 芦花公園駅周辺地区街づくり協議会

平成21年8月、「安全・安心で潤いのある街としていくために、関係機関と協力して、地区の特性を活かした街づくりを推進すること」を目的として発足し、会員は約70名です。

協議会全体で検討会を月1回開催し、地区のまち歩きや他地区の視察、駅前ロータリーの交通量調査などを行い、中間まとめづくりを進めています。

他地区での視察を参考に、当地区でも防災を取り入れたまちづくりを進める必要があるとの意見も多くあります。また、地区内では、千歳通りの沿道や駅南口の地区計画が策定されていることから、地区のまちづくりとの整合も必要となります。

協議会の広報紙「協議会ニュース」を発行し、まちづくりの活動報告等、会員への周知を行っています。



# 京王線の連続立体交差化・複々線化、関連側道計画等の都市計画案および環境影響評価準備書の縦覧と説明会

京王線（笹塚駅～つつじヶ丘駅間）の連続立体交差化・複々線化および関連側道計画等について、都市計画案および環境影響評価準備書が作成されましたので、縦覧と意見書の提出手続を開始し、説明会を開催します。

## 都市計画案の縦覧と意見書の提出

都市計画案	①東京都市計画都市高速鉄道第10号線 ②調布都市計画都市高速鉄道第10号線 ③東京都市計画都市高速鉄道京王帝都電鉄京王線 ④東京都市計画道路区画街路都市高速鉄道第10号線付属街路第6号線及び第9号線
縦覧期間	平成23年3月7日(月)～4月6日(水) 午前9時～午後5時(土・日曜日、祝日を除く)
縦覧場所	①～③は東京都 都市整備局 都市づくり政策部 都市計画課（東京都庁第二本庁舎21階北側）、杉並区 都市整備部 都市計画課（杉並区役所西棟5階） ④は杉並区 都市整備部 都市計画課（杉並区役所西棟5階）
意見書の提出方法	都市計画案の名称・日付・住所・氏名・「都市計画案に関する意見」を書いて、3月7日(月)～4月20日(水)（必着）の間に①～③は東京都知事あて、④は杉並区長あて、文書により郵送または持参。書式の指定はありません。（区ホームページに参考書式を掲載しています。）
意見書の提出場所	①～③は東京都 都市整備局 都市づくり政策部 都市計画課 （〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 ☎ 03-5388-3225） ④は杉並区 都市整備部 都市計画課 （〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎ 03-3312-2111（内線）3504） ※杉並区では、①の計画案について、東京都に提出する意見書とは別に、意見を受付けます。提出された意見は、区の参考資料とし、東京都には提出されません。 ●提出方法=杉並区長あて、書面で杉並区 都市整備部 都市計画課へ郵送または持参。書式の指定はありません。
問い合わせ先	①～③=東京都 都市整備局 都市基盤部 交通企画課 ☎ 03-5388-3284 ④ =杉並区 都市整備部 都市計画課 ☎ 03-3312-2111（内線）3504

## 環境影響評価準備書の縦覧と意見書の提出

事業名	京王電鉄京王線（笹塚駅～つつじヶ丘駅間）連続立体交差化及び複々線化事業
縦覧期間	平成23年3月7日(月)～4月6日(水) 午前9時～午後5時(土・日曜日、祝日を除く)
縦覧場所	東京都 都市整備局 都市づくり政策部 都市計画課（東京都庁第二本庁舎21階北側） 杉並区 環境清掃部 環境課（杉並区役所西棟7階）
閲覧場所	区民事務所・分室、駅前事務所、図書館
意見書の提出方法	事業名・日付・住所・氏名（法人その他団体の場合は、その名称、代表者名、東京都区域内の事業所などの住所）を書いて、3月7日(月)～4月20日(水)（必着）の間に東京都知事あて、文書により郵送または持参。書式の指定はありません。
意見書の提出場所	東京都 都市整備局 都市づくり政策部 都市計画課 （〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 ☎ 03-5388-3225）
問い合わせ先	東京都 都市整備局 都市基盤部 交通企画課 ☎ 03-5388-3284 杉並区 環境清掃部 環境課 ☎ 03-3312-2111（内線）3703

# 都市計画案および環境影響評価準備書の説明会

日 程	時 間	会 場
3月16日(水)	午後7時～9時 (開場 午後6時30分)	世田谷区立松原小学校 (松原5-43-26)
3月17日(木)		杉並区立永福南小学校 (永福1-7-6)
3月18日(金)		世田谷区立烏山北小学校 (北烏山6-3-1)
3月22日(火)		東京都立松沢病院内体育館 (世田谷区上北沢2-1-1)
3月23日(水)		世田谷区立松沢中学校 (桜上水4-5-2)
3月24日(木)		世田谷区立松沢中学校 (仙川町2-15-2)
3月25日(金)		世田谷区立東大原小学校 (大原1-4-6)
3月28日(月)		世田谷区立芦花中学校 (粕谷2-22-2)

**地震の影響で延期になりました。**

※内容は同じです。当日、直接会場にお越しください。

※車でのご来場はご遠慮ください。

※東京都・世田谷区・杉並区と京王電鉄(株)の共催です。

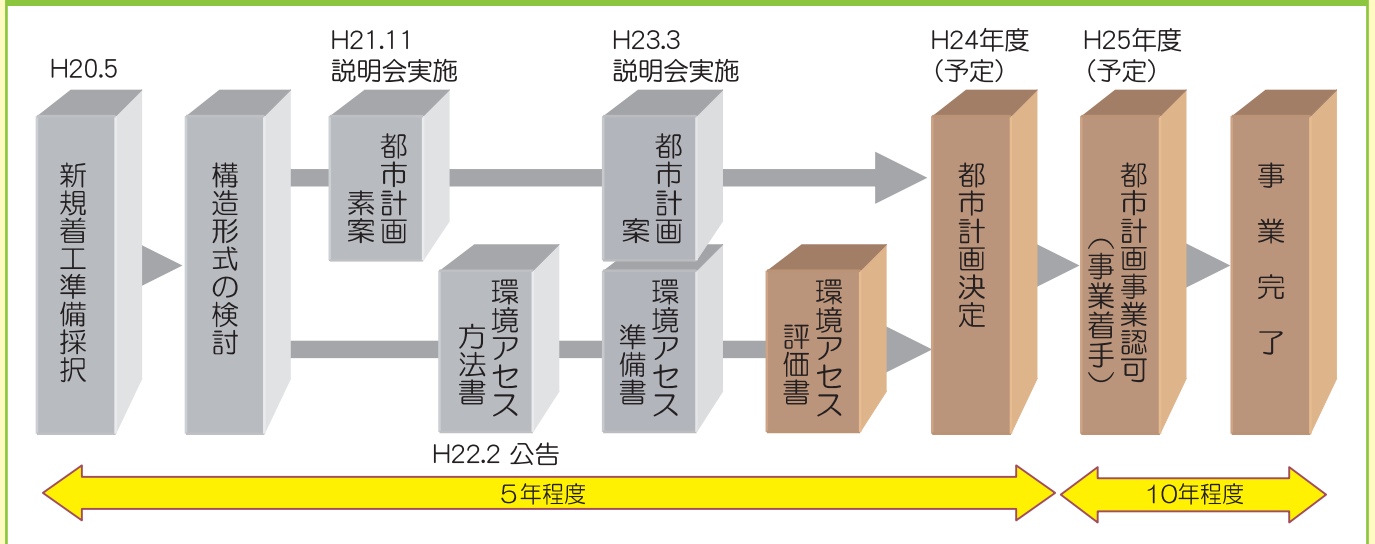
※問い合わせ先 東京都 都市整備局 都市基盤部 交通企画課 ☎03-5388-3284

杉並区 都市整備部 都市計画課 鉄道立体担当 ☎03-3312-2111 (内線) 3504

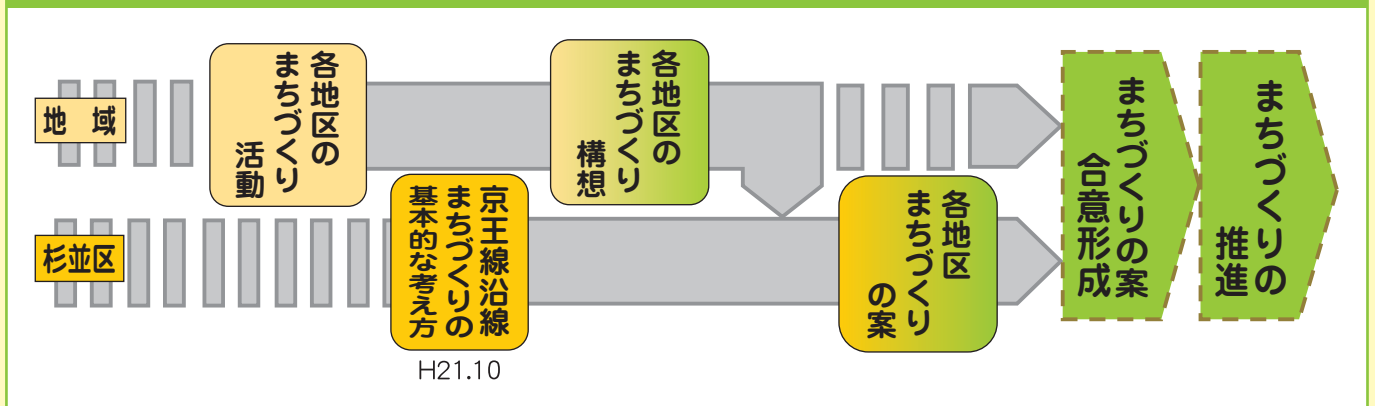


## 京王線沿線の事業の流れ

### 連続立体交差事業の概ねの流れ



### まちづくりの概ねの流れ





# 地域活動のお知らせ

## イベントの開催「桜上水春まつり」

桜上水駅周辺地区街づくり協議会では、「ふれあい・街づくり」～春のかおりが盛り沢山の楽市楽座～をテーマに、「桜上水春まつり」を開催します。春の一日、ぜひ、おでかけください。

- ◇ 日 時 4月17日(日) 12時～15時(予定)
- ◇ 会 場 京王線桜上水駅
- ◇ 内 容 産地直送市、フーズマーケット、お花見市、お茶市、プレイキッズ、街づくりコーナーなど

※街づくりコーナーでは、協議会の活動報告なども行います。  
※内容は変更になる場合もあります。(雨天決行)

**地震の影響で中止になりました。**



## 沿線探訪(下高井戸)

甲州道中(街道)の整備により、慶長7年(1602)頃「高井戸宿」という宿場町が設けられました。慶長9年(1604)頃、高井戸宿は、「下高井戸宿」「上高井戸宿」の二つとなりました。周辺住民は農業を主としており、一宿で継ぎ立て(\*1)を勤められず、月初から15日までを下高井戸宿、16日から月末までを上高井戸宿が勤める合宿(あいしゆく:\*2)となったようです。

日本橋から4里(約16km)あり、当初は、甲州道中の第一宿でしたが、元禄11年(1698)頃に、高井戸宿までが遠かったために、「内藤新宿(現在の新宿)」が設置され、素通りするものが多くなったようです。

明治22年(1889)、東豊多摩郡(のちに、豊多摩郡)高井戸村として、上高井戸村、下高井戸村、大宮前新田などが合併し、村として発足しました。

大正15年(1926)、町制が施行され豊多摩郡高井戸町となり、昭和7年(1932)杉並区に新設合併されました。

「下高井戸駅」は、大正2年(1913)京王電気軌道の「下高井戸駅」として開業し、昭和13年(1938)には「日大前駅」に改称されました。「日大前駅」は、駅の近くに日本大学予科・高等師範科(現在の文理学部)があることに由来しています。昭和19年(1944)、再び「下高井戸駅」として改称し、現在に至っています。

東急世田谷線の「下高井戸駅」は、大正14年(1925)玉川線「下高井戸駅」として開業しています。

「高井戸」の地名の由来は、諸説あるようですが、村内の小高いところにあった辻堂の傍らから水が湧き出て、高いところから出ていた井戸なので「高井戸」とする説や、宗源寺(下高井戸4-2)の不動尊高井堂が変化したなどの説があります。



【甲州街道高井戸の家並】(昭和23年頃)



【本覚院から宗源寺に移築された現在の不動尊】

近年、下高井戸在住の方が、地域の墓石や文献、高井山本覚院(明治末期廃寺:下高井戸2-3)と宗源寺の関連などから、高井山本覚院の開山主高井氏が住まう土地「高井土」が「高井戸」の地名の起源となったと新たな考えを発表しています。

現在の下高井戸は、甲州街道の南側は住宅地と駅周辺の商店街で構成されていますが、北側は住宅地が広がり、また、農地や公園も点在しています。

甲州街道は、国道20号線として整備され、昔の宿場町の名残を感じとることは難しくなりました。街道の北側には数多くのお寺が建立されていますが、多くは、明治以降の区画整理や大正12年(1923)の関東大震災後に、東京の下町(浅草、築地、本所など)から移転してきたお寺です。

歴史や文化をテーマに、下高井戸界隈を訪れてみてはいかがでしょうか。

参考文献: 杉並風土記下巻 森 泰樹 著

文化財シリーズ26 甲州道中「高井戸宿」 杉並区教育委員会

資料提供: すぎなみ学倶楽部 (<http://www.suginamigaku.org>)

(\*1) 宿駅で人馬を替えて、貨客を送り継ぐこと。

(\*2) 複数の宿場が、月の日数ごとに継ぎ立てを勤めること。

杉並区 都市整備部 都市計画課 鉄道立体担当

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111(内線)3504 Fax 03-5307-0689